



会 議 録

八幡市教育委員会

開 催 日 時	令和元年5月17日（金曜日） 午後3時00分～午後4時15分	
場 所	分庁舎2階 会議室A	
出席委員名	谷 口 正 弘（教育長） 松 下 順 英（職務代理者） 橋 本 陽 生	佐 野 恵 理 子 人 見 妃 都 美
委員を除く出席者の職・氏名	部 長 佐 野 正 樹 部付 部長 辻 和 彦 部 次 長 川 中 尚 部付 次長 田 中 孝 治 教育総務課長 山 中 友 順 学校教育課長 辻 博 之 社会教育課長 近 藤 茂 雄 文化財保護課長 八 十 島 豊 成 図 書 館 長 福 田 賢 二 教育支援センター所長 長 村 長 信 教育集会所館長 畑 中 敏 之	教育支援センター主幹 近 藤 一 郎 生涯学習センター主幹 奥 村 則 雄 教育集会所主幹 平 田 雅 之 教育総務課主幹 加 藤 正 人 学校教育課主幹 福 田 昌 弘 学校教育課主幹 小 野 雅 也 保育・幼稚園課主幹 高 瀬 栄 津 子 教育総務課長補佐 小 林 聡 美 社会教育課係長 内 田 大 生 教育総務課 大 崎 茂 夫

1. 開 会

2. 報 告 事 項

- (1) 令和元年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数(市独自速報値)の結果について
(教育総務課) ※資料あり
- (2) 令和元年度研究指定校等について(川中教育部次長) ※資料あり
- (3) 校務支援システムについて(学校教育課)
- (4) 第二回・第三回 徒然草エッセイ大賞・授賞式について(社会教育課)
- (5) 「平成31年度(令和元年度)八幡市教育支援センター事業方針」について
(教育支援センター) ※資料あり

3. 議 題 (協議事項)

- (1) 八幡市の教育行政について

4. その他

- ・ 園、学校訪問について
配布資料
 - ・ 令和2年度使用小学校教科用図書選定資料
 - ・ 3、4月分議事録(写し)

5. 閉 会

※次回定例教育委員会

日時：6月21日(金)(午後3時から)

場所：会議室A

※学校訪問先は中央小学校(10:30)とくすのき小学校(11:30)です。



内 容

	<p>1. 開会</p> <p>[教 育 長] これより5月の定例教育委員会を始めたいと思います。まず、2. 報告事項(1)令和元年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数についての報告からお願いします。</p>
	<p>2. 報告事項</p> <p>(1) 令和元年度八幡市立幼稚園、小・中学校の在籍者数・教員数(市独自速報値)の結果について</p> <p>[山 中 課 長] 市独自の速報の結果について報告申し上げます。市独自の速報の結果については、お手元に配付しております報告(1)をご覧くださいと思います。この表は、前年度数値を括弧書きとして記載しております。</p> <p>幼稚園でございますが、今年度から八幡第二幼稚園が休園の為、園数が6園から5園になっています。公立幼稚園の園児総数は273人、昨年の294人より21人減少しており前年比92.9%になっています。なお、有都こども園でございますが、保育園部分の51人が含まれた人数となりますが、それを除くと公立幼稚園の総数は222人で、昨年の245人より23人の減となり前年比90.6%となります。園ごとに見ますと八幡幼稚園は1人の増、八幡第三幼稚園では2人の減、八幡第四幼稚園では10人の増、橋本幼稚園では14人の減となっております。有都こども園の園児数は74人ですが、従来の幼稚園対象分としては23人で昨年より1人の減となっております。各園の詳細は表のとおりでございます。</p> <p>また、表には掲載しておりませんが私立の幼稚園(こども園)の市内に在住する園児の総数は、589人ございまして、昨年615人でしたので26人減少の前年比95.8%の状況でございます。</p> <p>次に小学校でございますが、小学生の総数は3,598人で、昨年の3,693人より95人減少し前年比97.4%となっております。学校別に見ますと八幡小学校では36人の減、くすのき小学校では11人の減、さくら小学校では3人の増、橋本小学校では37人の減、有都小学校では16人の減、中央小学校では18人増加しております。南山小学校では17人の減、美濃山小学校では1人の増となっております。各小学校の詳細は表の通りです。</p> <p>最後に中学校ですが、総数は1,668人、昨年の1,724人より56人減少しており前年比96.8%となっております。学校別に見ますと男山中学校は34人の減、男山第二中学校では19人の減、男山第三中学校では9人の増、男山東中学校では12人の減となっております。各中学校の詳細は表の通りです。以上でございます。</p>
[教 育 長]	在籍者数・教員数の独自調査ですが、何かご質問等ございますか。
[松 下 委 員]	小学校から中学校に進学する際に公立中学校4校に報告いただきましたが、私立中学校に進学した総数を教えてください。
[教 育 長]	事務局、如何ですか。
[川 中 次 長]	今手元に数字を持っていないので後日、報告させていただきます。
[松 下 委 員]	概ねその数字は、どれぐらいでしょう。
[教 育 長]	単純に考えれば、6年生の卒業生の総数から中学1年生の入学生の差が目安ですね。他にありますか。
[佐 野 委 員]	八幡市内からアメリカンスクールに通われている生徒数は把握されておりますか。
[川 中 次 長]	アメリカンスクールではなくフリースクールに通っている生徒数は、把握しております。手元に数字はございませんが、そんなに多くではありません。
[佐 野 委 員]	幼小中それぞれにいますか。
[川 中 次 長]	幼稚園は、把握していませんが小学校、中学校はいます。在籍は学区内の学校です。基本調査には、入っています。
[教 育 長]	他にありますか。ないようなので(1)の報告については終了します。(2)令和元年度研究指定校等について、川中次長、お願いします。
	(2) 令和元年度研究指定校等について



[川 中 次 長]	<p>別紙の報告（２）をご覧ください。研究指定校等の上から順に進めます。平成３０・令和元年度京都府教育委員会指定「学力向上システム開発校」です。これは、各校が主体的に手を挙げた形のもので、男山東中学校、八幡小学校、それぞれ２年目の研究です。下段の方に記載してあります研究発表会を開催しますので、お時間があれば是非お越し頂ければと思います。特に男山東中学校の方では、論理的思考力を鍛える授業改善という事で、カリキュラムマネジメントも含めた積極的な研究を進めていただいております。</p> <p>八幡小学校の方は、主に国語科を中心として、ことばの力を育成するためという形で、取り組みを進めていただいております。</p> <p>令和元年度京都府教育委員会指定で、食に関する指導充実推進事業は、有都小学校で実施しております。スクール・サポート・スタッフ配置事業とは、はたらき方改革の観点から各学校に補助員や支援員を配置し先生方の負担軽減への取組を進めるものです。現在、週２０時間のサポート・スタッフを配置しております。京都式学力向上教育サポーター事業ですが、毎年名称が変わっていますが、基本的には、まなび・生活アドバイザー配置事業です。小学校においては、まなび・生活アドバイザーとして主に退職された教職員の方を配置し子供たちの生活習慣を含めて改善を図っているところです。中学校においては、スクールソーシャルワーカーの配置により子供たちの経済的な部分を含めてサポートしています。</p> <p>研究発表会ですが、最下段に研究指定校ではありませんが、京都府小学校教育研究会の実践協力校として「情報教育」を有都小学校が３年間やってまいりました。今年度が最終年度となりますので、１１月１４日に情報教育の発表会を実施します。</p> <p>以上でございます。</p>
[教 育 長]	今年度の研究指定校についての報告でしたが、質問等がありますか。
[橋 本 委 員]	男山東中学校と八幡小学校は、主体的に手を挙げ参加されたとの報告でしたが全体として指定校をどのように決めるのでしょうか。他校も主体的に手を挙げているが最終的に２校しか取れなかったのかという点をお聞きしたいと思います。
[川 中 次 長]	<p>「学力向上システム開発校」については、２校とも手を挙げて京都府教育委員会の審査に通っている状況です。今年度については、京都府教育委員会が新たな展開をしており手を挙げて研究指定校を受けた学校は、ございません。前年度は、男山東中学校、八幡小学校の２校だけが手を挙げられ２校とも選ばれました。</p> <p>食に関する指導充実推進事業、スクール・サポート・スタッフ配置事業、京都式学力向上教育サポーター事業については、人員の配置も考慮し教育委員会の方で指定をさせていただいてます。</p>
[教 育 長]	宜しいですか。
[橋 本 委 員]	はい。
[教 育 長]	時間が許すのでありましたら、それぞれの研究発表会へ足を運んでいただけたら幸いです。
[福 田 主 幹]	<p>それでは、（３）校務支援システムについての報告をお願いします。</p> <p>（３）校務支援システムについて</p> <p>校務支援システムの導入についてご報告申し上げます。</p> <p>校務支援システムとは、児童生徒の出欠管理や成績処理、通知表作成等の執務系、健康診断票や保健室来室記録等の保健系、指導要録等の学籍系などの校務と呼ばれる業務全般を実施・支援するために必要となるシステムでございます。</p> <p>これまで、それぞれの学校で表計算ソフトを活用した簡易なシステムを作り、運用してきましたが、システムの作成・変更作業はコンピュータ操作にたけた、特定の教員しかできないものであり、教職員の異動でその教職員がいなくなれば、変更や運用が困難になります。今回導入する校務支援システムは、京都府の共同調達という形で導入するものであり、将来的には他市町村でも同じ校務支援システムを運用する事になります。この事により、児童生徒の転出入に伴う事務や教職員の異動によるシステム運用についても利点があると考えられます。</p>



校務支援システムを導入する事により、事務の簡略化など教職員の負担軽減が図られ、そこから生み出される時間を児童生徒と関わる時間に充てる事ができるようになると考えられます。

なお、校務支援システムの概要に関する説明会を5月13日に実施しました。5月27日からは、各校での操作研修を実施し、6月から本稼働を予定しております。

以上、ご報告いたします。

[教育長]

校務支援システムの報告がございましたが、ご質問等は、ございますか。

[橋本委員]

各学校が働き方改革をふまえて校務支援システムを積極的に導入された事は、素晴らしい事だと思います。情報の自由度と情報管理の安全性について聞かせてください。

[川中次長]

情報の安全性の部分ですが、今回のシステムは企業のクラウドサーバーを使用します。回線は専用回線を使用し安全性を図り、自然災害等においてもバックアップサーバーも企業側が用意しているため安全です。情報の自由度の部分ですが、今回導入します校務支援システムにつきましては、あくまでも各学校ごとの情報管理という形になっております。児童生徒の基本情報については、学校教育課から学校の方に提供させていただいています。学校ごと及び教職員ごとの交流等につきましては、校務支援システムとは別の各校ごとにあるサーバーにおいてグループウェアを使用しています。また、現行の校務支援システムは、京都府全体とまでは、なっておりません。

[橋本委員]

各学校ごとの全ての情報について、教員のアクセス権は、どのように管理されていますか。

[川中次長]

校務支援システムのアクセス権については、教員の部分、管理職の部分、承認の部分を取り分けています。学校の中での情報の部分は、例えば担任の範囲は自クラスだけというアクセス権をかけていると聞いています。

[教育長]

他にありますか。無いようなので(4)第二回・第三回 徒然草エッセイ大賞・授賞式についての報告を社会教育課お願いします。

(4)第二回・第三回 徒然草エッセイ大賞・授賞式について

[内田係長]

第二回徒然草エッセイ大賞・授賞式についてご報告申し上げます。

徒然草の第52段に因み平成29年度に創設いたしました「徒然草エッセイ大賞」、第2回目は「旅立ち」をテーマとして、平成30年6月8日から9月30日までを募集期間とし、「一般の部」「中学生の部」「小学生の部」の3部門において作品募集を行いました。応募件数といたしましては、総数2,036件、一般の部1,048件、中学生の部362件、小学生の部626件、の応募が全国各地よりございました。うち八幡市からは、総数1002件、一般の部24件、中学生の部359件、小学生の部619件でございました。

授賞式は平成31年3月16日(土)石清水八幡宮清峯殿において行いました。各部門の大賞は、一般の部は、京都市、戸田和樹(とだかずき)さんの「人間教師への旅立ち」。中学生の部は、札幌市立明園中学校2年、石河聖(いしかわしょう)さんの「自己開拓」。小学生の部は、八幡市立美濃山小学校6年、谷口穂乃歌(たにぐちほのか)さんの「おつかい」。各部門で大賞が1、優秀賞3、佳作5の合計27点が入選されました。

続きまして、第三回徒然草エッセイ大賞のテーマは「発見」。思いがけず見つけた近所の素敵な場所、今まで気づかなかった友や自分の一面、人生の知恵や時代のゆくえなど、作者が「みつけた!」と感じた物事を募集したいと考えております。授賞式は令和2年3月14日(土)、会場は文化センター小ホールを予定しております。なお、募集については、6月7日に報道発表し、募集開始を行う事としております。

以上でございます。

[教育長]

第二回の報告と第三回の予定の報告がありましたが、何かご質問はございますか。

[人見委員]

八幡市の子どもを中心とした応募が多かったと思いますが北海道からの応募もあり受賞され大変良いイベントだと思います。もっと広く知ってもらえれば参加数も増えると思いますが、募集方法は、どのようにされていますか。

[教育長]

広報の仕方は、どのようなですか。

[内田係長]

八幡市内へは、広報やわた、ホームページ及び小・中学生にチラシを配布しております。



市外には、専用ホームページに掲載、連携している市町村にチラシを配布しております。
以上でございます。

[教育長]

他にありますか。無いようなので、(5)「平成31年度(令和元年度)八幡市教育支援センター事業方針」について、支援センターお願いします。

[長村所長]

(5)「平成31年度(令和元年度)八幡市教育支援センター事業方針」について

平成31年度の八幡市教育支援センターの事業方針について、報告いたします。

支援センターは平成31年度の「学校教育の方針と目標」及び「学校教育の重点」にもとづき、以下の3点の事業を実施いたします。

まず、1点目は、「教育相談」についてです。市内在住の保護者の方や各学校から、不登校をはじめ様々な課題について、電話または来所されて教育相談を受けます。定期的に相談を申し込まれた方については、カウンセラーの受理面談を受け、毎週水曜日に行っています受理会議で京都教育大のスーパーバイザーによる助言を得て、正式受理します。曜日と時間を決めて、カウンセリングまたはプレイセラピーを実施しています。不登校児童生徒が通います「さつき」教室に通所している児童生徒も、基本的にはカウンセリングまたはプレイセラピーを受けます。各学校や教育関係機関とも連携しながら相談活動を進めています。

次に、2点目「不登校解消に向けた取組」についてです。八幡市の大きな教育課題であります不登校の解消に向けて、毎月各校の不登校の状況を把握し、課題分析を行っています。学校や関係機関と連携しながら、不登校の未然防止や早期発見に取り組んでいます。また、不登校になった児童生徒については、学校や保護者から相談を受け、カウンセラーと面接をして受理会議で教育支援教室「さつき」への入室を決めます。課題に応じて小集団、個別の指導をきめ細かく行って参ります。

3点目「特別支援教育」についてです。障がいのある児童生徒の日々の指導は学校において行われますが、担当指導主事が各校の授業研究や通級指導教室の運営、指導内容について指導助言をしています。また、各学校等で障がいの状態に応じた教育相談を進めるために、関係機関との連携のもと、担当指導主事が指導助言を行っています。

以上、教育支援センターの事業方針について、概要ではありますが報告をさせていただきました。八幡市の不登校を少しでも減らすために、本年度も職員一同尽力して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

以上です。

[教育長]

支援センターからの事業方針について、何かご質問等はございますか。他に報告する事はありますか。無いようなので報告事項は、終了させていただきます。次に3. 議題の方に移ります。(1)八幡市の教育行政について、何かございますか。

3. 議 題 (協議事項)

(1) 八幡市の教育行政について

[松下委員]

現在の学校現場の状況と将来への展望について4点ほどお聞きします。1点目は、今年度から3学期制を試行していますが、7月の夏休み前に成績を生徒、保護者に提示できる部分では、中学3年生の進路に関わる保護者は安心できる点は良いと思います。課題として授業時間数の確保の問題だと思ひます。この授業時間数の確保をどのようにするのかをお聞きしたいと思ひます。本年度は、休日が3日間多いですが授業時間数をどう確保するのか教えてください。2点目は、新教育課程への対応ですが、小学校の英語教育だと思ひます。来年からの小学校の5年生、6年生の英語科の指導体制についてですが、美濃山小学校では昨年度から英語科専門の先生が派遣されて、専科教員を中心に英語の授業を進めている事はお聞きしています。専科教員は、何年かかけて各小学校に拡充していく事を期待していますが、その間専科教員が来ない学校については、担任が授業するのですが、担任の英語の指導力の強化をどのように研修しているのか教えてください。正式に英語科として始めて新しい指導要領では、単語で600語を扱うのは、大変だと思ひます。3点目は、教職員の働き方改革を昨年度から教育委員会でも取り組みを始めて各学校に指導されてきた経過があるのですが、その結果として1年経過して、先生方の平均時間数はどのようになったか教えてください。



クラブ活動のクラブ休みなどの活動方法及び外部指導者の採用人数について、教えてください。4点目は、南ヶ丘の館長さんにお聞きしますが、今年度の放課後学習に参加する人数は何人ぐらいですか。市内の5年生、6年生の在籍数の何パーセントなのか。指導者は、どの程度確保できたのか教えてください。

[教 育 長]

3学期制の試行によるテストの状況は、どうなのか。休日の代替は、どうなのか。英語科の教員の指導及び600語の単語についての対応方法はどうか。働き方改革によって、労働時間がどのようになったか、月80時間を超える残業時間者は、どの程度いるのか。部活動については、外部指導者の確保。放課後学習に参加する人数と指導者の確保状況についてです。事務局如何ですか。

[福 田 主 幹]

今年度の中学校におけるテストの回数ですが、3学期のそれぞれの学期で成績を出すという形になりますので、年5回、1学期の中間・期末、2学期の中間・期末、3学期の学年末という形を基本としていますが、授業時数の確保やテスト期間の間隔を考慮し学校によりましては、単元テストという形でそれぞれの教科で単元の幅を決めてテストを行って成績に組み込む形で、テストの評価については、工夫されています。

[教 育 長]

今年度休日が多かったですが、授業時数の確保の観点からお願いします。

[川 中 次 長]

授業時数の確保の部分ですが、基本的に今年度の計画は、法的にはクリアしています。夏休みの短縮予定は、ございません。新しい学習指導要領による授業時数の増加ですが特に小学校においては、1時間の増加が必要になってきます。それについては、国語科において15分のモジュール授業を週3日間行う事により、1時間として教育課程に取組む形にし1コマを確保します。英語につきましては、小学校5年生、6年生であれば2コマを確保します。専科教員ですが、今年度くすのき小学校に配置されました。本市においては、美濃山小学校、くすのき小学校に専科教員の配置で、くすのき小学校の専科教員は、二中ブロック内の小小連携という形で、南山小学校の5年生、6年生の授業に行っていたという形をとります。市内8校のうち3校については、今年度から配置をしております。今後も私共としては、京都府教育委員会、文科省各所を含めて、専科教員の配置としては要望してまいりたいというふうに考えています。小学校の担任の英語の指導力の研修でございますが、現在3年目になります本市教委主催の中学年、高学年の担任向けの英語の研修を継続した形で行っています。京都府教育委員会におきましても小学校の英語の教員の研修については、積極的に参加していただいているところで、一定の研修については、できているものと考えています。現実的には、すべての教員が英語を指導できるだけのレベルがあるかどうかについては、十分ではないと思っていますので音声面でのデジタル教科書の活用や教材等の工夫等について様々な整備をしているところでございます。続きまして、働き方改革の問題ですが、勤務時間の増減については、昨年度からはじめているところで比較するデータがないので、お答えできません。京都府教育委員会が働き方改革の目標数値としてあげている午後8時までの完全退勤の平成30年度までの目標が50%でございました。本市の午後8時までの完全退勤は、17.3%です。このような事から考えますとまだまだ教職員の勤務時間については、課題が多いかなと考えているところです。昨年度までは、出退勤記録システムで就業時間から退勤時間までと休日勤務を時間外として記録していましたが、今年度につきましては、出勤から始業前の時間を時間外として認識させるべきで、出勤から始業前の時間を加えて記録し、校長先生に報告し指導に使っていただきます。残業時間削減は、具体的になかなかできていませんが、来年度に向けて留守番電話の導入等、具体的な作業について、具体的な取り組みについて、検討したいと考えています。

以上です。

[教 育 長]

月80時間の残業者数は、まだわかっていないのですか。去年の時点でもわかっていませんか。

[川 中 次 長]

去年の数字は手元にありませんが計算されています。

[教 育 長]

部活動の外部指導者の件は、どのようになっていますか。

[川 中 次 長]

昨年度も部活動指導員も予算化しておりましたが、教員免許を所有する指導員が見つから



ず配置する事ができませんでした。今年度については、男山第三中学校のソフトテニス部へ部活動指導員として入っていただいています。京都府教育委員会の外部指導者を市内の3クラブへ外部指導者を入れております。

以上でございます。

[教育長] 今年度の放課後学習に参加する人数と在籍数の割合。指導者の確保についてお願いします。

[畑中館長] 5年生、6年生対象の放課後学習クラブへは、270人の申請者がございました。5年生、6年生の在籍者数から考えますと23%程度になります。アドバイザーの配置ですが34人から35人を8校に割り振りし配置する予定でございます。

[松下委員] 感心したのは、休日が3日増えているのに授業時数は、文科省の基準をクリアしている事ですので今後は、自然災害や病気がない事を祈るだけだと思います。

[教育長] 現在の行政に関わっている内容ばかりでございます。この教育行政についての議題でございますので、教育委員会として今提起された事につきまして、こうすべきであるとかを含めて意見がありましたら出していただきながら手を打つべきところは、打っていかねばならないといけないと思いますが、他の委員の皆さんは、如何ですか。

[橋本委員] この議題は大きくて話し出すとどれほどの時間が必要かわかりませんから2~3の質問にとどめます。3学期制の試行に入られているということであれば具体的に各校で試行されたものを総括し次年度に反映させる方向だと思います。あるいは、先ほどの指定校じゃありませんが、特にこの学校を中心に「この点についてやってみてください」のように具体的な内容まで指示し強制的指導的な意味も含めて、日々多忙なかで色々工夫して動いて頂いている現状を鑑みますと主体的にやってもらうことに越したことはないのですが、学校を回って現場の事情を見ておりますとある程度指導し、その中で工夫して頂くアプローチが必要だと思います。特に限られた時間の中で本格実施となってまいりますと困られる学校もあるのではないかという事を含めて、今のような事情が具体化できるような、あるいは安心して本格実施に迎えるような環境にあるのかどうかという内容が一つどうかと思いました。

英語学習についてのところですが、英語については少しでも現場の先生方に安心していただける教科担任制として昨年之美濃山小学校にプラスして、くすのき小学校に配置していただき非常に好ましい方向だと思います。

英語教育という観点について言えば、外国人活用との兼ね合いをどのように考えられているのか。ICTを導入することによって英語教育をさらに進めていくにあたっての情報も必要だと思います。そのあたりをふまえて新教科書については、紙媒体プラスデジタル教科書がどの程度進んでいるのか。デジタル教科書などは、具体的に活用できるわけですから実践済の部分があるかと思います。デジタル教科書などを具体的に指定してあげることによって考える余地も出てくると思います。各学校が具体的に動くのが難しいと思いますので、具体的な方向に結び付く指導がどのようになっているのか教えていただければと思っています。

[教育長] 3学期制導入の課題が整理できているのか。英語科の導入について、デジタル教科書の導入を含め現状は、どのようになっているか。それを踏まえてのご意見だと思いますが、現状は、如何ですか。

[川中次長] まず、3学期制について先生方が一番不安なのが評価の部分だと思います。それについては、校務支援システムを導入し3学期制の通知票の部分の不安感を少なくできると思います。2期制の課題として長期休暇の学習等を十分できていたのかどうかと考えます。本市では、平成18年度から2期制が始まり平成23年度には、夏季休暇を短縮しております。平成23年度は、中学校にエアコンが入った年です。小学校においては平成26年度にエアコンが入っておりますので、その辺から授業時数の確保が十分できてきたと感じています。英語教育における外国人の活用の部分ですが、中学校においては、6月から翌年1月まで常勤で外国人講師を派遣しています。小学校においては、概ね3年生、4年生については各学級5時間程度、5年生、6年生については、各学級20時間程度、6月から翌年1月まで各学校に派遣をして、できるだけネイティブなコミュニケーションができ、その中から学べる



ように配置しているところです。

ICTについては、現在、文科省が作成したWe Can!という補助教材がありそれを各教室で使えるようになってきているので、かなり活用されていると思います。中学校においてもデジタル教科書の活用については、頻繁に使用していますし、使用率も非常に高いと感じています。英語については、毎日使用していると思います。

今後は、教育用コンピュータをタブレット型コンピュータへ移行する予算が認められたので計画をしております。タブレットの活用についても英語科の方では、必要だと考えています。今後4年を目途に有線LANを無線LANに移行し各教室にタブレットにて子ども達個々の状況に合わせながら教育できると思っています。課題としては、多種多様のコンテンツの購入方法や教材の整備も必要だと感じています。

以上でございます。

[教育長]

現在の取り組みの現状報告がありました。今後をご指導をよろしく申し上げます。ハード面の整備は、進んでいきますが、それに伴う指導力の向上をどのようにするかが課題だと思います。3. 議題には終了いたします。4. その他ですが、八幡第四幼稚園及び南山小学校を訪問いたしました。感想等がありましたらお願いします。

4. その他

○園、学校訪問について

[佐野委員]

本日、南山小学校、第四幼稚園に訪問しました。南山小学校については、昨年度当初から教頭先生が亡くなられて、凄くご苦労された部分のお話を受けまして、今年度4月からは校長、教頭、教務主任が揃ってスタートできたことは、新たに頑張られる意気込みを感じました。今日は、インフルエンザが発生し学級閉鎖もあり、大変な時期だと感じました。

第四幼稚園に関しては、第二幼稚園と統合して初めてスタートしたので、子ども達も増えたので活気づいているという報告を先生からうけ安心して帰って来ました。今年度シリアからの園児が2人おりスマートフォンのアラビア語で対応されていますが、意思疎通ができない話を受けましたので、教育委員会の方でポケットークを購入したと聞きましたので、第四幼稚園へ提供していただきたいと思います。

[教育長]

ポケットークは、教育委員会として、購入していないと思います。八幡市として購入しています。

他に感想等は、ございますか。無いようなので園、学校訪問については終了します。事務局の方から配布資料の連絡・報告をお願いします。

[山中課長]

配布資料

- ・令和2年度使用小学校教科用図書選定資料
- ・3、4月分議事録（写し）

以上3点を配付しております。

5. 閉会

[教育長]

それでは、以上をもちまして5月度の定例教育委員会を終了させていただきます。

※次回定例教育委員会※

日時：6月21日（金）（午後3時から）

場所：会議室A

※学校訪問先は中央小学校（10：30）とくすのき小学校（11：30）です。